

さようなら原発! 栃木アクション2022

第9回

栃木アクション



<参加者へのお願い>

新型コロナウイルス感染予防で、シュプレシコールなし。
①発熱等体調の悪い方は、参加の見合わせを ②マスク着用
③ソーシャルディスタンスの隊列での行進をお願い
④感染状況によっては、中止の可能性も

日時: **11月19日(土)**

会場: **宇都宮城址公園**

集合: **午後1時**

パレード開始: **14時(予定)**

★プログラム

*雨天決行です

1:00 開始・あいさつ 14:00 パレードスタート)
お話 海渡雄一さん(弁護士) 15:30 終了予定
集会アピール

海渡 雄一さん Profile



弁護士。1981年より数多くの原子力に関する訴訟を担当する。2010~2012年には日弁連事務総長として原発事故と震災の法的対策に取り組む。脱原発弁護士全国連絡会の共同代表として、東京電力福島第一原発事故の東京電力の責任追及、原発運転差し止めのための訴訟を多数担当。



さようなら原発!

主催: **さようなら原発! 栃木アクション**
(事務局) 大木一俊法律事務所
〒320-0821 宇都宮市一条4-5-11
TEL.028-636-0596 FAX.028-637-4886

「原発はいらない!!」「さようなら原発!」は国民の声!!

福島第一原発事故から11年半が経過しましたが、原発周辺の空間線量は依然と高く、避難指示が解除された地域での住民の帰還は進まず、廃炉に至っては、シールドプラグから7京ベクレルもの放射線セシウムが発見されるなど次々と問題が生じ、いつになったら完了するのかも分からない状況です。

そして今、プーチンによるウクライナ侵略は、原発が格好の軍事標的であることを明らかにしました。

原発は、生命にとって危険極まりない存在である上、被曝労働の犠牲の上に成り立っていることや使用済み燃料等の放射性廃棄物の処理のツケを長期にわたり子孫に回すもので、倫理的にも許されず、即刻廃棄されなければなりません。

それなのに岸田政権は、東海第二原発・柏崎刈羽原発など17基の再稼働、老朽原発の延命、原発の新增設を含む次世代型原発の検討等原発推進に前のめりです。

このような状況に対し、国民の大多数が脱原発・原発ゼロを望んでいることを示すため、一緒に「原発はいらない!!」「さようなら原発!」と声を上げましょう。



2007年開催のパレード

●パレードコース案内 (2.2km)

城址公園→宇都宮市役所前→中央通り→(シンボルロード)
→本庁交差点→東電前→宮の橋(解散)

